

○『宗教研究』編集委員会

日時 二〇〇九年六月二十七日(土)一二時三〇分—一六時

場所 東京大学 赤門総合研究棟八四五号室

出席者 浅見洋、櫻尾直樹、白川琢磨、杉村靖彦、鶴岡賀雄
(長)、保坂俊司、丸井浩、渡辺学

議事

・二〇〇九年度の特集号(テーマ「スピリチュアリティ」)の執筆候補者と編集意図を決定した。

・三六三号(一二月刊行予定)以降の書評本および評者候補を選定した。

・投稿論文への査読に関する問題点他を、引き続き検討した。

○庶務委員会

日時 二〇〇九年七月一日(土)一三時—一四時三〇分

場所 東京大学 法文二号館第三会議室

出席者 芦名定道、池上良正(長)、岩田文昭、嶋田義仁、深澤英隆、八木久美子、山中弘、(オブザーバー)井上順孝、島齒進

議事

一、学術大会開催関連

・本年度のパネル発表の申し込みに関して生じた問題点を検討した。いずれもプログラム委員会の裁量の範囲内と判断し、

当面、募集要項の変更はしないことになった。

・会員より検討要請のあった大会時の託児所について検討し、必要な情報を収集することになった。

二、再入会の手続きについて

現行の手続きの問題点を確認し、引き続き検討することになった。

三、入会申込書の書式の見直し

現在の記入事項は学会を運営する上で必要なことを確認した上で、名簿には記載を希望しない事項は載らないことなどを特記した記入要項を、次回までに作成することにした。

四、宗教文化士(仮称)検討委員会からの報告

井上委員長より現在までの進捗状況と、本学会から運営委員数名を母体となる認定機構に出す構想などが説明された。学会の関わり方を含めて、今後の進展具合について情報を共有していくことになった。

五、会員名簿について

名簿の必要性が話し合われ、新版の発行に関して次回の委員会で決定することになった。

○情報化委員会

日時 二〇〇九年七月一日(土)一三時—一四時三〇分

場所 東京大学 法文一号館二一九教室

出席者 デール・アンドリュース、石井研士(長)、鈴木岩弓、津城寛文、中野毅、弓山達也、(オブザーバー)粟津賢太

議事

一、独自サーバーの利用について

委員長よりサーバー利用検討の経緯が説明され、Microsoft社が無料提供するWindows Liveの利用が承認された。

二、メールマガジンのワーキンググループについて

①粟津氏をメールマガジン作成の担当委員とし、②岡本亮輔氏、武藤亮飛氏、山田庄太郎氏をワーキンググループのメンバーとすること、③メールマガジンは、ワーキンググループによる記事作成↓情報化委員会↓学会長・各種委員会委員長・学術大会大会実行委員長による確認↓情報化委員会の最終決定という流れで発行されることが確認された。なお、④メールマガジンの発行について新たに四〇万円を計上すること、⑤現在のアドレス登録者全員を自動的に登録し、解除は各自で行うことに加え、HPにメルマガ登録コーナーを設けるなどの工夫が必要であることが確認された。

三、HPの英文化について

アンドリューズ委員より、現在のHPの英文欄の紹介と問題点が指摘され、今後、①『宗教研究』掲載論文の要旨、②入会手続き、③学術大会の案内、④論文検索のマニュアル、⑤会長挨拶の英文掲載をはかることが確認された。

○国際委員会

日時 二〇〇九年七月二一日(土)一三時三〇分—一四時三〇分

報

場所 東京大学 法文一号館二一七教室

出席者 木村武史、櫻井義秀、澤井義次(長)、下田正弘、月

本昭男、丹羽泉、渡辺和子

議事

一、二〇一〇年のIAHR世界大会(トロント)について

二〇一〇年の第二〇回IAHR世界大会(トロント)の事務局が、大会への参加登録と発表申し込みの受付を開始したことが報告された(詳しくは日本宗教学会HPを参照)。なお国際委員会では、この世界大会に参加する若手の宗教研究者に対して、資金援助を行うという方向で、これまでも検討を重ねてきた。従来の議論を踏まえて、具体的に検討に入ることが確認された。その上で、資金援助のための選考委員会の設置、資金援助の予算枠、応募資格、申し込み方法などが話し合われた。

○宗教文化士(仮称)検討委員会

日時 二〇〇九年七月二一日(土)一四時—一四時三〇分

場所 東京大学 法文一号館二一〇教室

出席者 井上順孝(長)、田中雅一、土屋博、藤原聖子

議事

一、理事会報告事項について

科学研究費補助金基盤研究(A)「大学における宗教文化教育の実質化を図るシステム構築」(研究代表者・星野英紀大正大学教授)によって実施されている研究経過について報告するが、その内容を以下の通りとすることとした。

①全体構想を練る上での素案を作成し、運営のための機構、資

格取得のプロセスについて議論を継続していること。

②教材開発のための議論

今後、オンライン教材を含め、宗教文化教育の教材を開発する方針であること。なお、すでに『映画で学ぶ現代宗教』（弘文堂）、『世界の宗教教科書（DVD）』（大正大学出版会）などが、検討委員会の企画と並行して刊行されている。

③今後のスケジュールについて

二〇一〇年度に準備室を設け、試行期間にはいる。そのためのパイロット校として、数大学の関連学部・学科等に打診中であること。

④ニュースレターとHPによる研究状況の公開について

本年度第1号（通算四号）を五月に刊行したこと。

二、本年度開催予定の国際会議について

本科研と共催により、本年度は次の三つの国際会議が、すでに実施または計画されていることが報告され、了承された。

①国際比較神話学会との共催による国際会議

開催日 二〇〇九年五月二三日（土）、二四日（日）

場所 國學院大學・学術メディアセンター・常盤松ホール
及び〇六会議室

②国際シンポジウム「Education on Religious Cultures in

University Curricula」

開催日 二〇〇九年八月一〇日（月）

場所 国立民族学博物館・第四セミナー室

③國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所との共催による

国際研究フォーラム「映画の中の宗教文化」

開催日 二〇〇九年九月二〇日（日）

場所 國學院大學・学術メディアセンター・常盤松ホール

○理事会

日時 二〇〇九年七月一日（土）一四時三〇分—一六時四

五分

場所 東京大学 法文二号館教員談話室

出席者 芦名定道、池上良正、石井研士、市川裕、井上順

孝、岩田文昭、小田淑子、リチャード・ガードナ

ー、加藤智見、鎌田繁、氣多雅子、櫻井治男、櫻井

義秀、澤井義次、塩尻和子、島蘭進、嶋田義仁、下

田正弘、鈴木岩弓、芹川博通、高田信良、竹村牧

男、田中雅一、月本昭男、津城寛文、土屋博、鶴岡

賀雄、中野毅、中村生雄、西山茂、丹羽泉、長谷部

八朗、深澤英隆、星野英紀、松丸壽雄、松村一男、

村上興匡、八木久美子、山中弘、渡辺雅子、山本佳

世子（京都大学）、渡辺章悟（東洋大学）

議事

一、次年度の学術大会について

島蘭会長より東洋大学で開催されることが報告された。東洋大学の竹村理事より、日程は来年三月に会場が確保できた段階で公表するとの説明があり、了承された。

二、第六八回学術大会プログラムの承認

大会実行委員会が準備したプログラム原案を検討し、二八二名の個人発表、二〇組のパネル発表を承認した。多数の申込

があり一七部会としたが、今後も個人発表とパネルの時間帯を分けるかなどについては、ご意見を伺った上で、次年度以降に反映していくこととなった。

三、諸委員会からの報告と提案

(1) 庶務委員会

今回は特に提案・報告すべきことはなし。

(2) 国際委員会

来年のIAHR世界大会（トロント）に参加する若手研究者への援助について提案があった。学術大会開催校への補助金増額の問題等もあり、予算全体のバランスの中で考察すべきとの意見が出され、庶務委員会と話し合うことになった。

(3) 情報化委員会

九月に第一回のメールマガジンを発行予定であり、そのためのワーキンググループのメンバーが報告され、承認された。HP上での『宗教研究』の公開に向けての独自サーバーと、英文HPの充実を検討中である。

(4) 宗教文化士（仮称）検討委員会

科学研究費補助金で進めている研究成果が報告された。今後は、委員会できまとめられた提案を庶務委員会でも検討し、理事会上に諮るという手順を進めていく。

(5) 編集委員会

投稿論文の査読期間を若干延長することが報告された。なお掲載された書評に応答したいとの申し出があった場合の対応が諮られ、意見交換を行った。次回の理事会までに委員会で案をまとめ、提示することになった。

四、情報化委員の追加について

粟津賢太氏に情報化委員を委嘱することが承認された。

五、日本宗教学研究諸学会連合について

星野委員長より、九月の学術大会でパネル発表、十一月二八日に、日本学術会議哲学委員会「文化・価値の多元性分科会」と日本哲学系諸学会連合との共催でシンポジウムを開催することが報告された。

六、新入会員について

別記二一人の入会が承認された。

七、その他

庭野平和財団助成研究プロジェクト主催で七月一八・一九日に上智大学にて学術会議「The Roles of Religions and the Study of Religion in the Crises Confronting the World」が開催されることがガードナー理事より報告された。

○学会賞選考委員会

日 時 二〇〇九年七月一日（土）一六時四五分―一八時四五分

場 所 東京大学 法文二号館第三会議室

出席者 芦名定道、櫻井義秀、下田正弘、高田信良、田中雅

一、村上興匡、山中弘

議 事

・互選により高田信良氏を委員長に選出した。
・候補作品について審議し、今後の審査方法、手順等を決定した。